

ぬくもりのある船員室を設備した749GT貨物船「八十八由良丸」

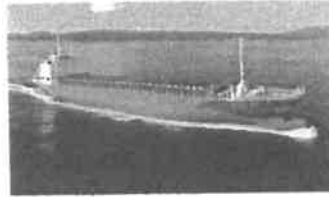
運航・由良海運、船主・由良機船

2023 (R5) 10月31日竣工。女性社長の感性で船員室の環境改善に力を入れた。運航は由良海運(本社・名古屋市、寺岡洋一社長)。船主は子会社の由良機船(本社・名古屋市、八木理恵子社長)。

- 特長** (1)今春、新卒の女性船員が入社するため、女性用のシャワールーム、トイレ、洗濯室などを設置した。
- (2)居室や内装設計は建造造船所の親会社・五洋建設の女性設計チームが担当した。結果①窓を広くとり、圧迫感を感じにくくした②机やベッド周りには間接照明を採用——などと全体的に明るい木彫の内装とし、乗組員の快適性を実現した。
- (3)船員室を居心地の良い環境とした。荷主の中国木材と相談し、木のぬくもりを感じる、ずっと居たくなる、暖かみのある部屋にした。
- (4)①抵抗の少ない船型②ALC(自動負荷制御装置)③可変ピッチ式低回転大直径



▲ぬくもりの感じられる八十八由良丸の船室



▲八十八由良丸



▲八木理恵子
由良機船社長

プロペラ——を採用。ALCを装備した可変ピッチプロペラは主機関の負荷設定を的確に守り、主機関出力を効率よく使い、燃料消費量削減と省エネに役立つ。

また、速度を容易に調節することが可能。操船性、安全性が高まり、乗組員の業務負担も軽減される。

主要目 全長=約85.00m。幅=13.00m。深さ=7.60/4.23m。総トン数=749ト。載貨重量=1,800ト。主機関=赤阪鐵工所。馬力=2,000PS。速力=14.7ノット。建造造船所=警固屋船渠。

